

和泉観ボラだより 第17号 2017.8発行



〒594-0071 和泉市府中町 1-19-9 (JR和泉府中駅前)
 和泉市いずみの国観光おもてなし処 気付「和泉観光ボランティアクラブ」
 TEL : 0725-40-5552 FAX : 0725-40-5553



第6回和泉観光ボランティアガイド養成講座を開講します

和泉市は地理的に南北に広がり、丘陵が連なる自然環境に恵まれ、歴史・文化遺産の宝庫でもあります。訪れる人々に「おもてなしの心」で、長い歴史・文化遺産を広くお伝えし、和泉市の幅広い魅力を存分にお心に納められ、リピーターになっていただくため、和泉観光ボランティアクラブは活動しております。

和泉市の観光・歴史などに「興味がある」「知りたい」「ガイドをしてみたい」とお考えの方は、ぜひ、この機会に応募ください。机に座っての講義だけでなく、現地でのガイド実践学習もおこないますので、楽しみながらガイドとしての即戦力が習得できます。

全10回のうち7回以上の出席者には「修了証」をお渡しします。

養成講座 内容・日程表

月日	時間	講座内容	講師	集合・開催場所
9月6日 (水)	10:00~12:30	開講式 和泉市観光振興プランについて 観光の定義・プロのガイド実践 わかりやすい話し方 和泉観光ボランティアクラブについて	和泉市いずみアピール課 近畿日本ツーリスト株式会社 Way Rock スピーチ&コミュニケーション Labo 和泉観光ボランティアクラブ	和泉市役所
9月20日 (水)	10:00~14:00	和泉市の文化財について ガイド心得・物語観光・発声練習	和泉市文化財振興課 和泉観光ボランティアクラブ	和泉市いずみの国歴史館
10月4日 (水)	9:30~14:30	信太貝吹山古墳・和泉黄金塚古墳 和泉市の観光について・榎尾山施福寺	和泉市文化財振興課 和泉観光ボランティアクラブ	JR北信太駅 東口 信太の森ふるさと館
10月18日 (水)	9:30~14:30	佐竹ガラス・西教寺・小栗街道 八坂神社の高札場 和泉市の観光・光明皇后伝説 /和泉市の地形	和泉観光ボランティアクラブ	JR信太山駅 東口 和泉市立人権文化センター
11月1日 (水)	10:00~12:30	中国語で 葛葉稻荷神社～小栗街道 散策	孔子苑 陳 英翌 先生	JR北信太駅 東口
11月15日 (水)	10:00~14:00	和泉市久保惣記念美術館～松尾寺	和泉観光ボランティアクラブ	泉北高速鉄道 和泉中央駅 改札の外
12月6日 (水)	9:00~15:00	英語で榎尾山施福寺までトレッキング	桃山学院大学 Warren先生	泉北高速鉄道 和泉中央駅 改札の外
12月17日 (日)	8:40~18:00	和泉かつらぎ観光路線バスを活用 した広域観光について	和泉観光ボランティアクラブ	泉北高速鉄道 和泉中央駅 改札の外
1月17日 (水)	10:00~13:00	大阪府立弥生文化博物館 池上曽根史跡公園	学芸員・史跡案内人	大阪府立弥生文化博物館
1月31日 (水)	10:00~12:30	記念講演「ガイド中の防災対応について」 ガイド中の救急対応について 養成講座達成確認 修了証交付・閉講式	和泉市危機管理担当 和泉観光ボランティアクラブ 和泉市いずみアピール課	和泉市役所

* 開講日時・場所・内容等は変更になる場合がありますので、あくまで目安としてください。

参加費用：1,000円(損害保険料ほか)

募集人員：(和泉市内に在住もしくは在勤に限る)20名 * 応募多数の場合は抽選

申込み方法：8月18日(金)まで必着。往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、

〒594-0071和泉市府中町1丁目19番9号 和泉市いずみの国観光おもてなし処和泉府中まで。

問合せ：和泉市いずみアピール課 0725-99-8101まで。

和泉市いずみの国歴史館平成28年度リレー講座(墓から見る歴史—はかり知れない奥深さ—)第2回「消失した古墳・カニヤ塚古墳と庭園遺跡」と題しての講演会の講師(文化財振興課 千葉太朗氏)に和泉観光ボランティアクラブの観点から、取材をさせて戴きました。

Q:「古墳とその定義について」高校の日本史で、「古墳とはなにか」との授業で、「墳丘をもった墓」となった記憶がありますが、前方後円形の墳墓が弥生時代にすでに造られていたという報道があった様に記憶しております。弥生時代の墳墓と古墳を形からの区別と古墳および古墳時代の定義をご教示ください。

A:まず、古墳時代とは古墳が築かれた時代です。では、古墳とは何か。非常に難しい問題です。副葬品や土器などの研究からいろいろな見解があり、研究者により意見が異なっています。形態的な部分では区別しがたいものもありますが、箸墓古墳、いわゆる前方後円墳成立以降の墳丘をもつ墳墓であるというのが、現状では最もわかりやすいかと思います。古墳の定義については、いろいろな意見があるので、この限りではありません。

Q:邪馬台国の時代、卑弥呼は古墳時代初期と考えてよいのでしょうか。

A:何をもって古墳時代とするのかということが問題になってくると思います。卑弥呼の没年が文献から247年もしくはその直後だと考えられています。箸墓古墳の年代が3世紀末から4世紀初頭なのか、それとも3世紀中ごろなのかということで、箸墓古墳が卑弥呼の墓かどうかという議論があり、決着をみていません。どちらにしても、卑弥呼が生きた時代というのは、弥生時代でよいのではないかと思います。

Q:埋葬の方法が土葬から火葬に変わった時代 古墳はどのような変化をもたらしたのですか。

A:埋葬方法が土葬から火葬に変わったという表現はおかしいかと思います。火葬が取り入れられたというほうが良いかと思います。

これまでのいわゆる前方後円墳体制が崩壊し、あらたな時代へと変化していくなかで墓制としての古墳が造られなくなっていくのだと考えられます。これが古墳時代の終焉であり、律令国家の成立であるのではないのでしょうか。

Q:〇〇古墳と呼ばれるのが、〇〇天皇陵として定められたのは、どのような理由ですか。

A:どのような理由かはわかりません。江戸時代末期に蒲生君平により、陵墓が調査され、『山陵志』としてまとめられています。その後、明治時代になって現在の陵墓が決定されたようです。もともと記紀に陵墓の位置が記されており、延喜式ではさらに整備された形でまとめられ、これらがその後の陵墓比定の根拠とされているようです。

Q:「藤原京の都づくり」1987年の四條遺跡の発掘調査で、平らに均された古墳跡(四條1号墳)の上に、藤原宮時代の条坊道路や建物・井戸がつくられていた事が判明されていると同様に、ご講演されました、「消失した古墳(カニヤ塚)と庭園遺跡」は「和泉の宮の都づくり」と同じ条件であったのでしょうか。

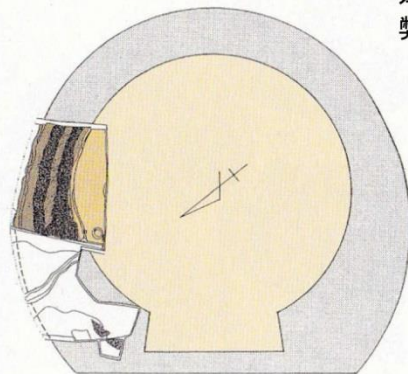
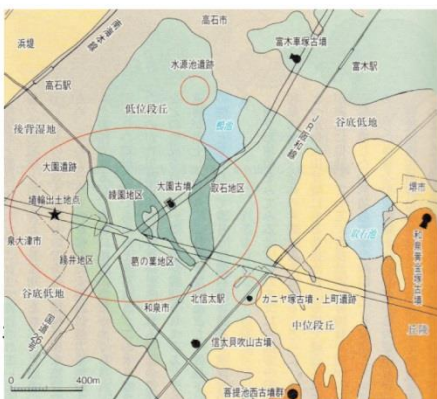
A:同じ条件というのはどういうことでしょうか。

平城京を考えると、カニヤ塚古墳と同じように、古墳の周濠を苑池に改変する例がいくつかみられますが、陵墓に比定されている市庭古墳の周濠も苑池に改変されていることが明らかになっています。平城京はいわゆる風水に基づき選地されたといわれています。藤原京のときにも風水の思想が取り入れられていたようです。つまり、その場所が重要であったと考えられます。風水的には藤原京や平城京と和泉宮は条件が異なるかと思いますが、場所という意味では、和泉宮も交通の要衝にあたるこの場所が重要であったと考えられます。

Q:和泉市の古墳を見学させてほしいが、古墳の全景を見ることができないと言ったご意見が寄せられています。将来的に、空中(ヘリコプターやセスナ機)からの、観光ガイドを検討しておりますが、その際には、ご説明を担当していただけますか。

A:高いところが苦手なので……ただ、空中からの観光ガイドも面白いと思います。

本日はお忙しい中、弊クラブの取材にご協力賜り有難うございました。



図の出典
『和泉市の歴史4 信太山
地域の歴史と生活』
より

図左:大園遺跡と
周辺の遺跡分布
図右:カニヤ塚古墳復元図

活動記録①: 自然総研様へのガイド

泉 由美子

平成29年5月17日(水)「自然総研」の皆さんと、熊野街道(小栗街道)周辺巡りをしました。

まずは、「葛の葉伝説」の地として知られる葛葉稲荷神社に参拝し、信太森神社境内の風景図にある、フクロウの灯籠と江戸時代の鳥居が今も現存するので案内しました。今は風化してフクロウは見る事が出来ませんが、設置された絵図から当時の葛葉神社の様子を伺うことが出来ます。現存する鳥居も皆さん熱心に見学されていました。

その後「リアーナ」で、いずみパール(人造真珠)のアクセサリなど買い物も楽しみ、小栗街道巡りに出発しました。1100年も前にこの街道を多くの人たちが歩き「蟻の熊野詣」とまで言われた行列の様が目に浮かびます。

篠田王子跡、後鳥羽院歌碑、平松王子跡をめぐり、最後は池上曾根遺跡までと長い道のりでしたが、皆さん楽しく歩いておられました。弥生時代から現代までの歴史を感じる1日でした。



活動①信太森葛葉稲荷神社前で解説



活動①同神社の姿見の井戸

活動記録②: 講座「年輪大学」の開催

細川 陽徳

平成29年4月19日(水)と20日(水)、初夏の匂い漂う季節を迎えたさわやかな日に開かれた講座「年輪大学!」。素晴らしい響きを持ち、人が人として永々つなぎ続ける言葉。

和泉市も日本全国に変わらず高齢者社会となっている。その中で高齢者の生甲斐づくりや仲間作りを図り地域社会でのコミュニケーションの輪を広げ、健康作りを目的として始まったこの催し。

和泉観光ボランティアクラブが「和泉市を知ろう」の講座を担当。「和泉市って..万年前は海の底でした」「陸が隆起して山ができ、雨に流され谷、丘、平野の特異な段丘地形ができたのです」その中で先達たちが知恵を絞って田の字形池を作り米の生産。

「母親が鹿であったと云われ後に、聖武天皇のお妃になった光明皇后。その頃和泉の郷に奈良東大寺の荘園が開かれました」講座生皆さんの「ホッホ〜!」と興味津々の顔に、身を乗り出し聞き入って戴いた姿に若さと元気と希望を感じたひと時でした。



活動②講座風景



活動②寸劇の熱演

活動記録③: 源氏物語宇治十帖を訪ねて

水 智弘

千年の時を超えて滔々と流れる宇治川の景観を訪ね、古から繰り返される歴史ドラマに思いを馳せながら、研修会に参加しました。

平成29年3月9日(土)宇治観光ガイドと宇治駅で合流、仁徳天皇に皇位を譲り自殺した菟道稚郎子(うじのわきいらつこ)御陵参拝。

宇治十帖ゆかりの早蕨の道をたどり、最古の神社建築宇治上神社参拝、平等院が俯瞰できる大吉山に登頂。頂上は気持ちの良い風が吹く、平安時代の民も、関白藤原頼通が鳳凰堂に籠っているのを眺めたことだろうと思いにふける。興聖寺の伏見城徳川方の血塗りの天井、和泉の蔭涼寺の方が豊臣方だったのを思い出す。

鳴き床を学生が歩いて、「キュー」という音が辺りに響く。宇治川の急流を眼下に朝霧橋を渡り、観光協会で「総角」(あげまき)の結び方を教わった楽しい研修会でした。



活動③平等院を俯瞰する



活動③菟道稚郎子御陵

観光ボランティア活動・イベントの今後の予定

- (1) 第19回和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク開催
平成29年10月14日(土)15(日)
観光ボランティアが、観光や歴史について説明を行う
- (2) ①平成29年度シティプラザ図書館主催「郷土学習会」:平成29年11月5日(日)
「古代人を魅惑した銅鏡 ー和泉黄金塚古墳から出土、画文帯四神四獣鏡の謎ー」
寸劇「貧女の一灯」を上演
②平成29年度和泉図書館主催「郷土学習会」:11月21日(火)
「葛の葉物語ー日本のガリレオ・ガリレイ誕生の謎ー」、寸劇「貧女の一灯」を上演



行きたい! 食べたい! 体験したい!

みんなの「したい」が、いっぱい詰まった和泉市へ会いに行こう!



道の駅いずみ山陵の里



和泉市久保堂記念美術館 クロード・モネ「睡蓮」



いずみふれあい農の里 いちご狩り

おすすめ観光スポットや
隠れた名店など
飲食店情報も盛りだくさん



外国語
英語 中国語 韓国語
(繁体・简体)
スマートフォン対応OK

旬なイベント情報もお届け

おしゃれなお店、自然遊びなど! ここから検索

和泉市 観光



あなたにとって大切な人の命を
あなたは救うことが出来ますか
大切な人の命を守ることは、
まず自分の命をまもること
和泉市危機管理担当

※和泉観ボラだより第16号記事の訂正とお詫び

和泉観ボラだより16号の、「和泉市子ども観光大使」の記事の中で、参拝作法として「2礼1拍手1礼」と記載しましたが、正しくは「2礼2拍手1礼」の間違いでした。お詫びと訂正をいたします。

観光ガイドへの申込・お問い合わせ先「和泉市いずみの国観光おもてなし処」

開所時間 10:00~18:00 定休日 月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始

TEL : 0725-40-5552 FAX : 0725-40-5553